



## イスラエルとガザ地区

校長： 田中 省一

10月7日に、ガザ地区（パレスチナ人：イスラム教）を支配するイスラム組織「ハマス」が、イスラエル（ユダヤ人：ユダヤ教）を奇襲してから約1ヶ月半、人質を解放するという条件で、ようやく戦闘休止が始まりました。しかし、全員の解放にはいってならず、今後も予断を許さない状況です。

さて、このパレスチナ自治区ガザは、イスラエルが全長65キロにわたる壁を海側も含めて建設し封鎖しており、人や物資の出入りを厳しく制限しているため、これまでも、ガザ地区のパレスチナ人は、慢性的な食糧・燃料不足に苦しめられてきたそうです。

ガザ地区の広さは福岡市と同じぐらいで、そこに、220万人以上が閉じ込められているため、「天井のない監獄」と呼ばれているそうです。

なぜ、このような状況になったのか調べてみると、イスラム教・キリスト教・ユダヤ教の聖地がイスラエルのエルサレムにあり、宗教的な争いは何百年も前にも起こっていたようですが、現在のような状況になった直接の原因は、第二次世界大戦後に、ドイツ（ナチス）により迫害されたユダヤ人に国際的な同情が集まり、パレスチナの地にユダヤ人のための国家イスラエルを作ることが国連で決まったことに始まります。その地には元々パレスチナ人が住んでおり、彼らが土地を追われる形となったことを受け、周辺のアラブ諸国が反発し戦争が起こりました。その紛争が今も続いているというわけです。

国と国とがイデオロギー（思想）の違いや経済的利益獲得のために、自国第一主義を主張し武力で相手を屈服させようとする、一番辛く悲しい思いをするのはいつも弱い立場の人です。ロシアのウクライナ侵攻も3年目に突入する気配が濃厚です。

さて、世界人権デー（12月10日）にちなんで、12月4日から10日は「人権週間」となっています。身近には、いじめや児童虐待、インターネット上の人権侵害、感染症や障害等を理由とする偏見や差別など、様々な人権問題が依然として存在しています。

身近な問題も、世界中で起こっている問題も、人ごとと思わず、自分の問題として捉え、互いの人権を尊重し合うことの大切さについて、国際情勢について、御家族で話をしてみることも大切かもしれませんね。



## たくさんの方が学校に来てくださいました！

11月1日から7日は「地域が育む『かごしまの教育』県民週間」でした。この期間に合わせて学校参観週間を設けて、保護者や地域の方に普段の子どもたちの学習の様子や、学校の施設などをじっくり見ていただきました。

アンケートでいただいた貴重な御意見は今後の学校改善に生かしていきます。御協力ありがとうございました。

## 地域の方に教えていただきました。



1年生：昔の遊び体験  
講師：佐藤 伸一郎さん



2年生：おもちゃ作り  
講師：松村 忠男さん



## 学校参観週間



3年生：ソラマメの植え  
講師：営農支援センター



4年生：アサギマダラのマーキング  
講師：福島 誠さん



5年生：福祉の体験学習  
講師：社会福祉協議会



6年生：紙すき体験  
講師：光岡 力さん

## ぞうきんをいただきました

奄美大島法人会女性部会から手作りのぞうきん275枚をいただきました。きれいにラッピングもしていただき、子どもたちもとても喜びました。これからさらに美化活動を頑張っていきます。



## 町小中合同音楽発表会

早町小学校と喜界中学校と合同で音楽発表会が行われました。喜界小は3年生と4年生が大勢の前でそれぞれ立派な演奏、歌唱を発表することができました。

他の学校や先輩の発表を聞いて学ぶことができ、貴重な体験をすることができました。



## 12月の行事

日・曜	行 事 等	日・曜	行 事 等
7日(木)	P T A役員選出会議	16日(土)	やる気塾
9日(土)	5年生ごま菓子作り	22日(金)	終業式
12日(火)	三校交流学习(特別支援学級)	29日(金)	学校閉庁(～1月3日)



